



「齒に当てて 雪の香ふかき 林檎かな」

渡辺水巴



(さくっとかおと冷たくて雪の香りがすると思いました、そういえばこの林檎の産地は、もう深い雪でしょう)

早いもので、今年も残すところ半月となり、徐々に寒さが身に沁みるようになってきました。今年、コロナの一年だったといえるのではないのでしょうか。大人も子どもも大きな影響を受けました。私たちは、コロナのような感染症であったり、台風であったり、地震であったり、自然界に起きているものに対しては無力です。大切なことは、できるだけ被害が少ないように自分でできる防衛をしたり、お互いに助け合ったりすることだと思っています。

あなたは、横断歩道の前で止まっていますか？

「信号機のない横断歩道前での歩行者横断時における車の一時停止状況全国調査」(JAF 日本自動車連盟)の結果が発表されました。結果は、停止率の一番良い県は、長野県で一時停止率が72.4%で連続5年間、全国一位だったそうです。長野県は、全人教育を目的とした取組がなされており、「教育県」だと言われています。おそらく、交通マナーについても、家庭や学校で教育が行われているのだと思います。その結果、このような良い数字が出ているのでしょうか。

さて、山口県はどうだったのでしょうか。結果は、18.0%で全国31位でした。(ちなみに、2019年は、9.0%で全国36位でした)皆さんは、この結果をどのようにとらえられますか。

「山口県の道路の舗装率は、とてもいいんだ」ということをよく聞きますが、道路はいいのに、交通マナーが守れないということはとても恥ずかしいことだと思います。

どうしたら、ドライバーが横断歩道前で、停止してくれるようになるのでしょうか。私なりに考えてみました。

- 1 周りをしっかり確認して、渡るときには手をあげる。(ドライバーに対して、渡る意思を示すこと)
- 2 横断歩道の前で、スマートフォンを見たりしない。(渡るのかどうか、ドライバーにはわからない)
- 3 止まってくれたドライバーにお礼の気持ちを込めて、お辞儀をする。(譲ってくれた、ドライバーの気持ちが悪くなります。実際に長野県の子どもたちは実践しているそうです)等・・・

ぜひ、子どもと一緒に考えてみませんか。山口県を、また、防府市を交通ルールが守れる気持ちのよい県・市にしましょう。このことにより、交通事故が少なくなることも期待できます。

ちなみに、法令では下記のようになっています。

横断しようとしている歩行者がいる際に一時停止しないと、「横断歩行者等妨害」という違反になる。違反点数は2点、反則金は普通車9,000円、大型車1万2,000円、2輪車7,000円、原動機付自転車6,000円が科せられる。

(文責＝青少年育成センター指導員 藤村)